

参院特別委 磯崎氏発言と質疑要旨

三日の参院平和安全法制特別委員会では参考人招致された磯崎陽輔首相補佐官の発言と質疑の要旨は次の通り。

【磯崎氏の冒頭発言】

七月二十六日の国政報告会での私の軽率な発言によりご迷惑をお掛けした。国民、与野党に心からおわびする。私は平和安全法制において、法的安定性は重要と認識している。安全保障環境の変化も議論しなければならぬことを述べる際に「法的安定性は関係ない」との表現を使ってしまったことにより、大きな誤解を与えてしまった。大変申し訳ない。この発言を取り消す。法制の成立時期に関する発言をしたことも深くおわび申し上げる。私の

個人的な見立てを申し上げたが、首相補佐官として極めて不適切だった。今後も首相補佐官としての職務に精励していく所存だ。

【法案の成立時期】

鴻池祥肇委員長 先の大戦の反省から、衆院の拙速を戒めるのが参院の役割だ。参院審議をしている中で「九月中旬に法案を上げたい」という発言はいかがなものか。参院は衆院の下



参院特別委に参考人として出席した磯崎陽輔首相補佐官＝3日、国会で

部組織、官邸の下請けではない。

磯崎氏 発言の後に「相手方もあるのではなかなか簡単にはいかない」と強調したかった。时期的なことを申し上げたのは極めて不適切だった。

【進退】

福山哲郎氏（民主） 政府は法的安定性を維持しながら集団的自衛権行使を限定容認したと強弁してきた。ちやぶ台をひっくり返したのも同然だ。責任は極めて

重い。職を辞すべきだ。

磯崎氏 発言は取り消した。補佐官の職務に専念することによって責任を果たしていきたい。

福山氏 首相からいつ注意を受けたのか。首相から進退の言及は。

磯崎氏 七月二十八日の夕刻に、首相から「誤解を生むような発言をすべきではない。注意しなさい」とおしかりを受けた。進退についての言及はなかった。

【違憲論】

福山氏（磯崎氏は）雑誌で「解釈変更が違憲だ」ということを聞いたことがない」と発言しているが、根拠は何か。

磯崎氏 私の感覚で言った。きちんとした根拠もなくそのような発言をしたことは軽率だった。おわびを申し上げたい。